

2006 12 6 国土技術政策総合研究所講演会

公共工事の品質確保のための 取り組みの方向について

国土交通省 国土技術政策総合研究所
研究総務官 兼総合技術政策研究センター長
西川 和廣

公共工事を取り巻く現状

(1) 談合問題と一般競争入札

- コスト縮減対策としての一般競争が談合対策に

(2) いわゆるダンピング問題

- 総事業量の減少の追い打ちによる競争激化

(3) 発注者の体制と技術力低下

- 増加する設計・工事ミス、事故の発生
- 受注者側の技術力低下も懸念
- 建設生産システムにおける発注者責任に関する懇談会
(H18.5-)

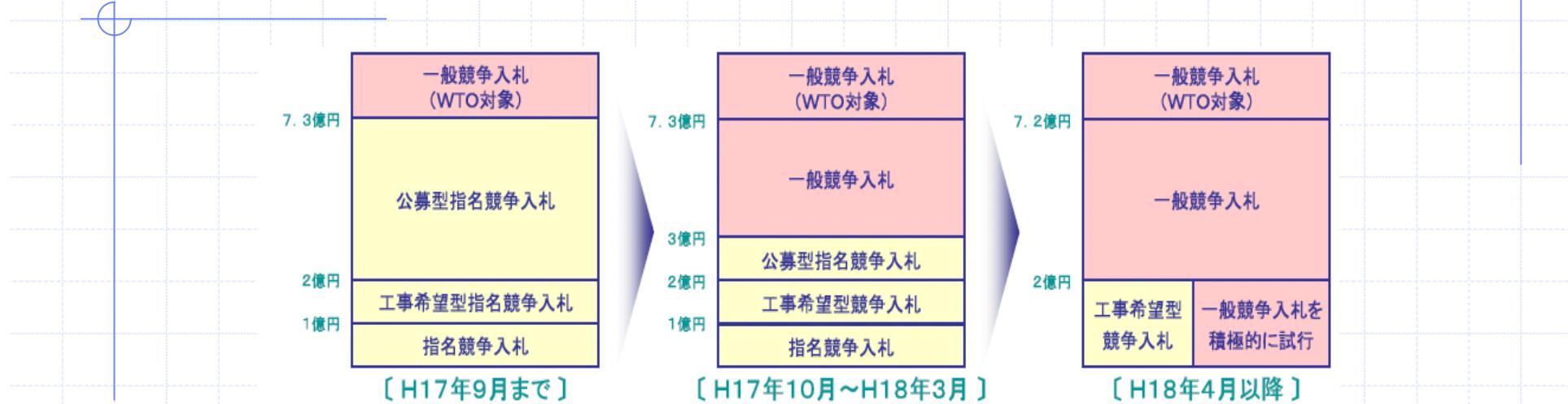
- 技術力はどこに行ったのか？

(4) 「公共工事の品質確保の促進に関する法律（品確法）」 の施行

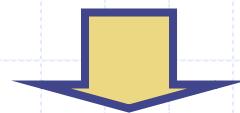
- 低入札の壁
- 発注者支援

(1) 談合問題と一般競争入札

指名競争 一般競争入札の転換 等



「独占禁止法」の改正(H18年1月施行)



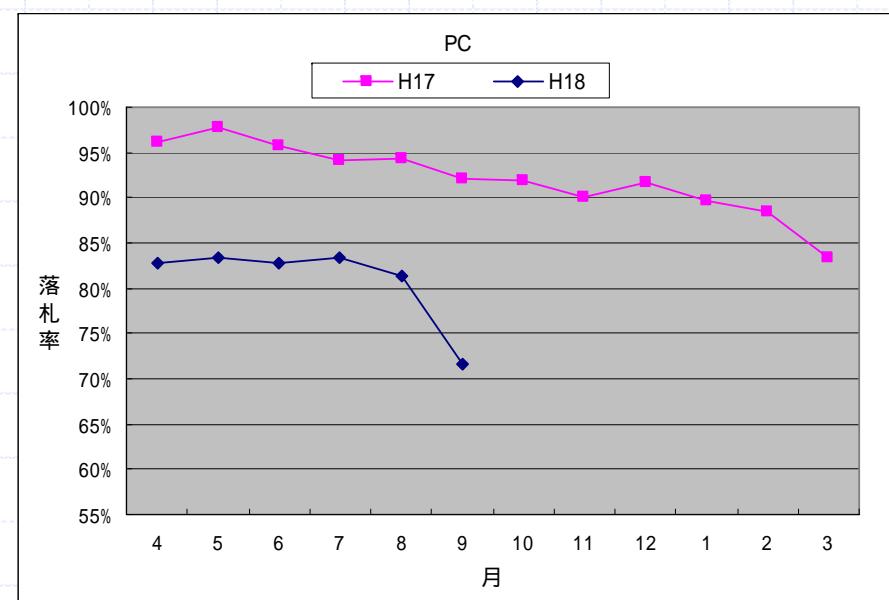
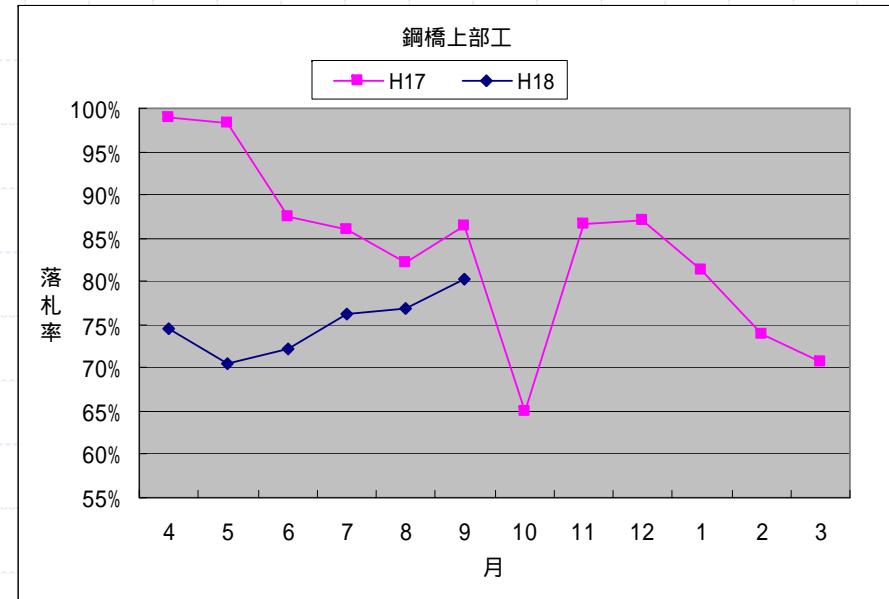
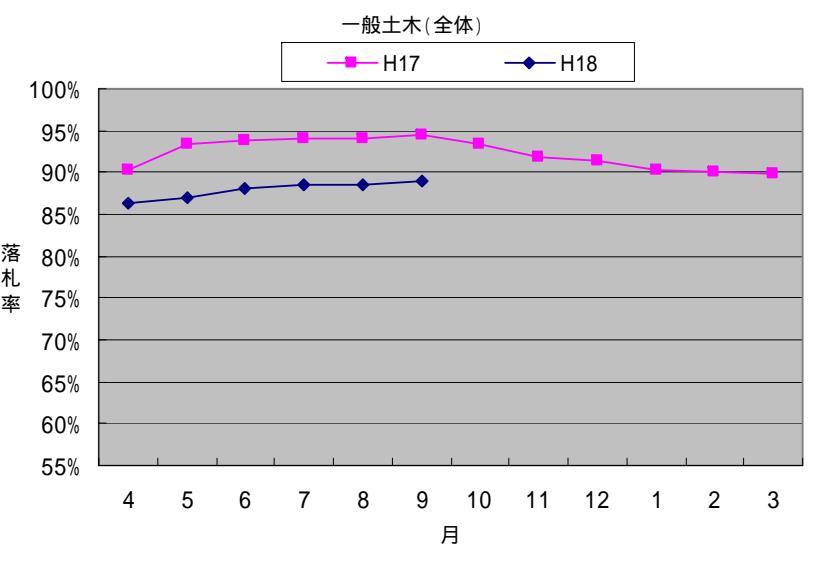
「透明性ある入札・契約制度に向けて - 改革姿勢と提言 - 」
土工協(2006年4月27日)

建設業界の過剰供給構造による競争の激化

(2)いわゆるダンピング問題

鋼橋上部工

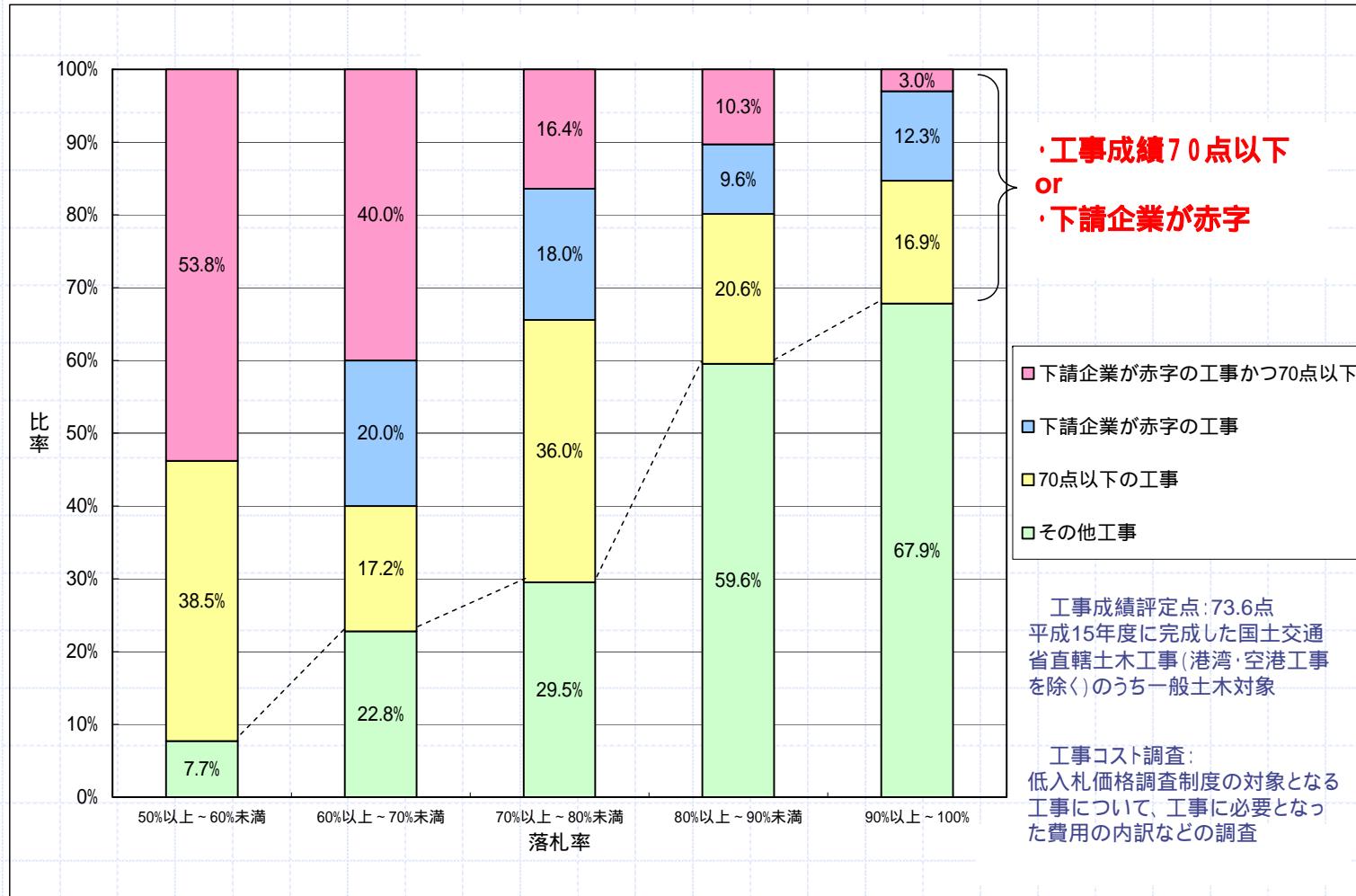
一般土木



プレストレストコンクリート橋

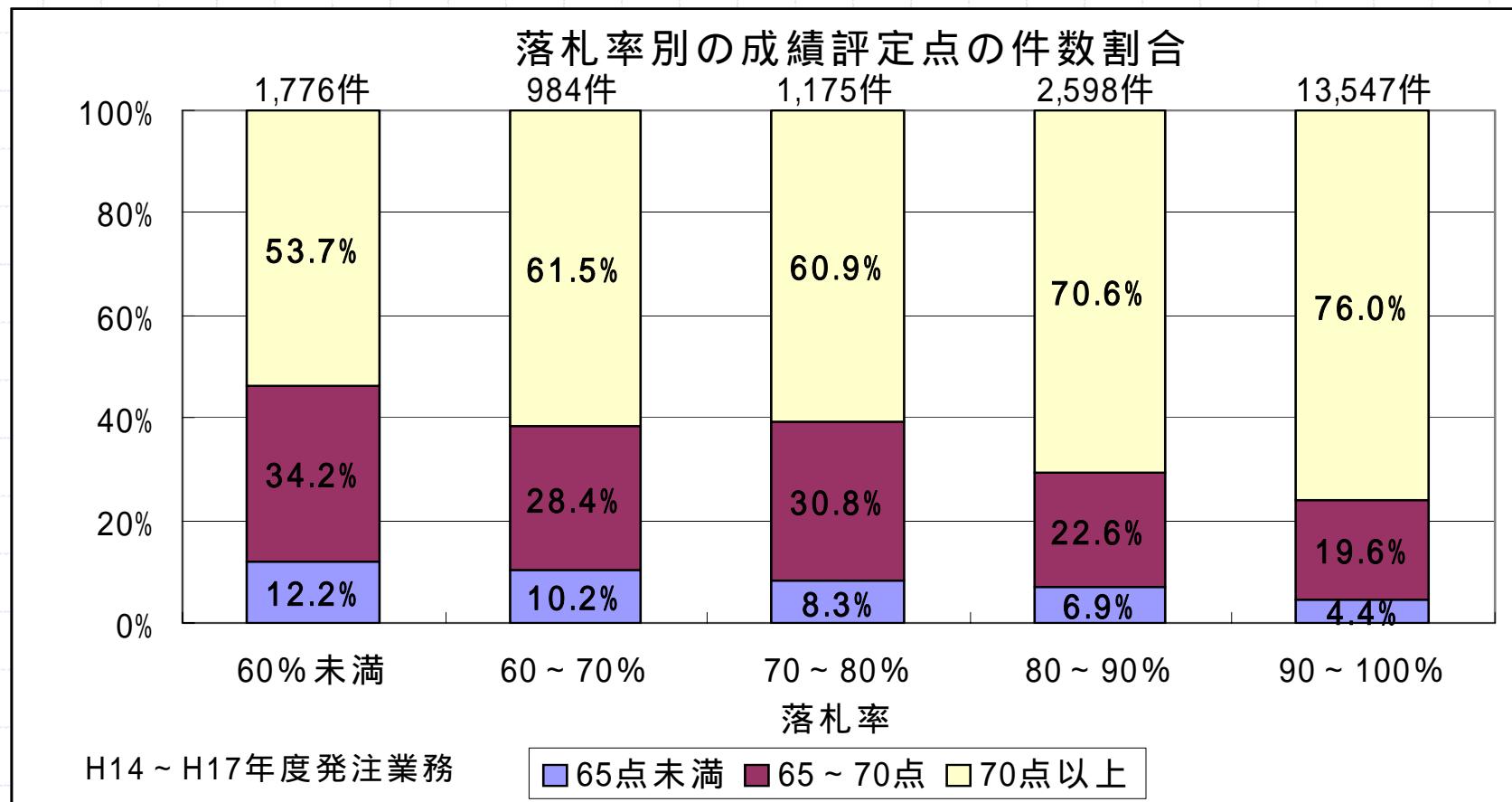
品質低下の懸念(工事)

落札率が低くなるほど、工事成績70点以下や下請企業が赤字の割合が増加

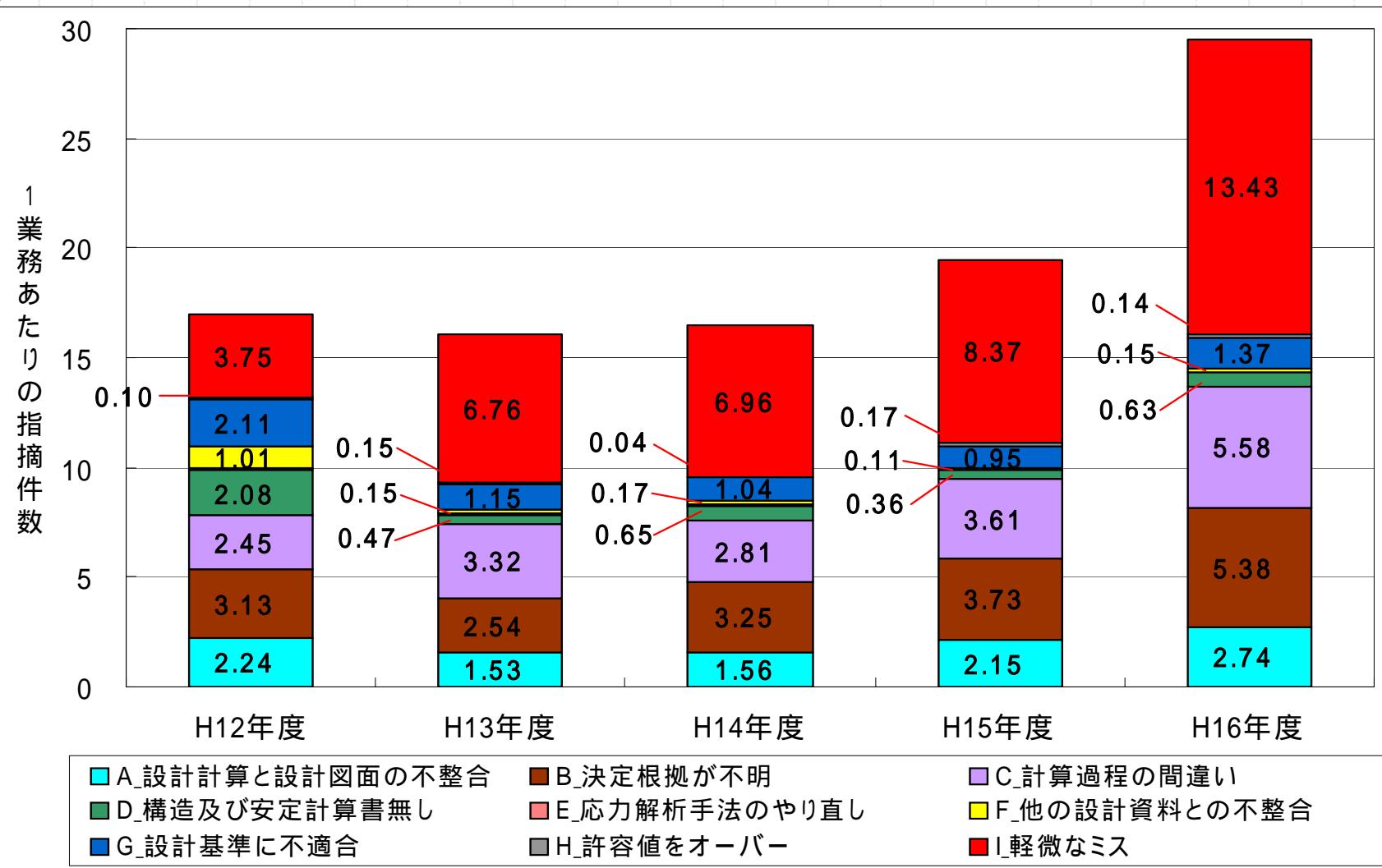


14年3月1日～16年3月31日に施工した国交省直轄土木工事(港湾・空港工事を除く)のうち一般土木 (547件)

品質低下の懸念(コンサル業務)

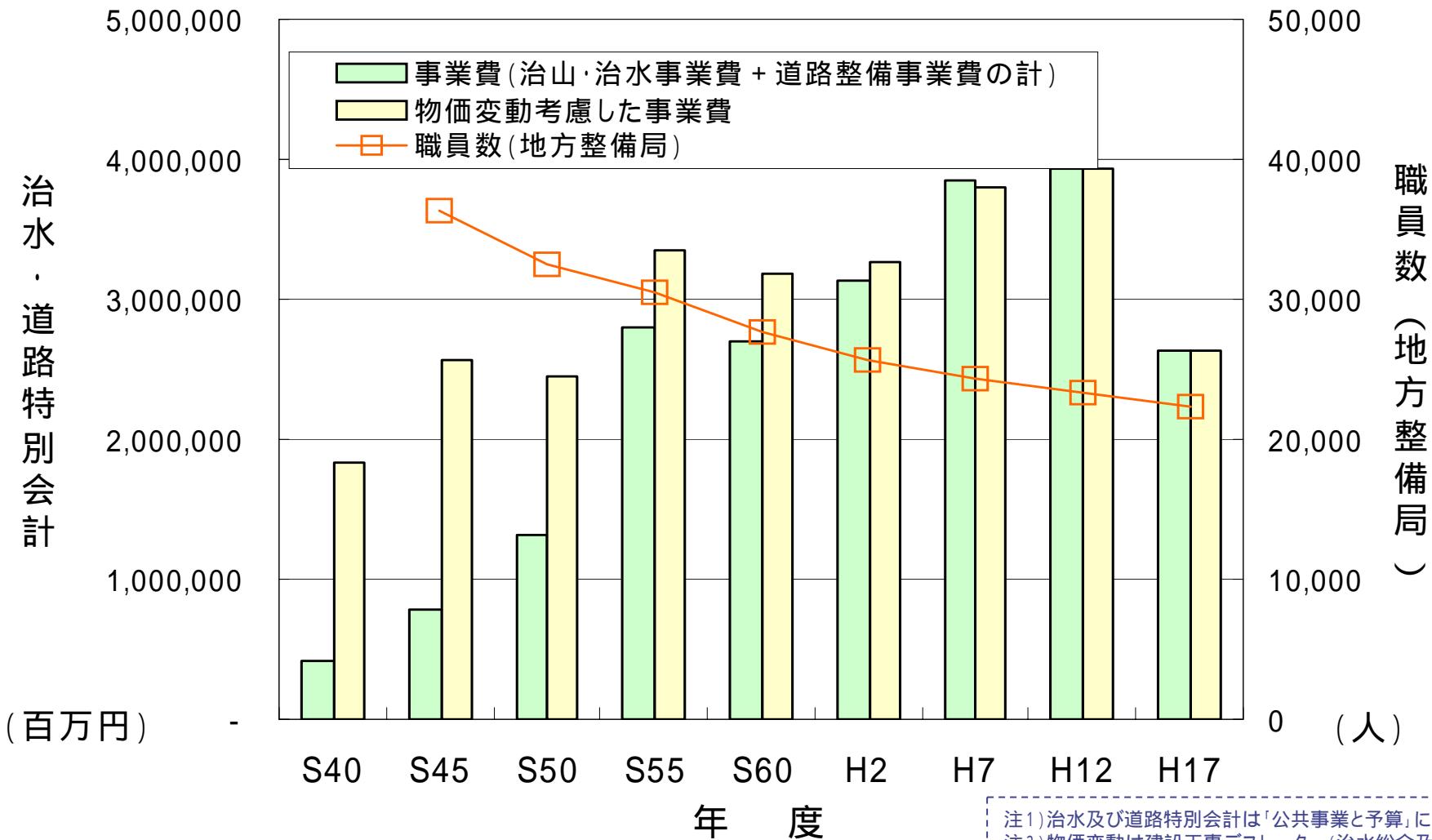


設計ミスの発生状況(コンサル業務)



(3) 発注者の体制と技術力

事業量が最近まで増加の一途を辿ってきた一方で、現場を担う地方整備局の職員数は減少



注1)治水及び道路特別会計は「公共事業と予算」による。
注2)物価変動は建設工事デフレーター(治水総合及び道路総合)による。なお、H17年度はH17年4月からH18年1月まで。
注3)職員数は8地方整備局における全定員数。

談合、設計・施工ミスによる国民の信頼喪失 技術力はどこに行ったのか？品質は？

◆ 技術基準、マニュアル、標準化の光と影

- 直営から民間企業への技術移転、事務の効率化の要請
- マニュアル技術者の増加、設計・施工ミス増加の一因

◆ 指名競争システムは品質確保のシステムでもあった

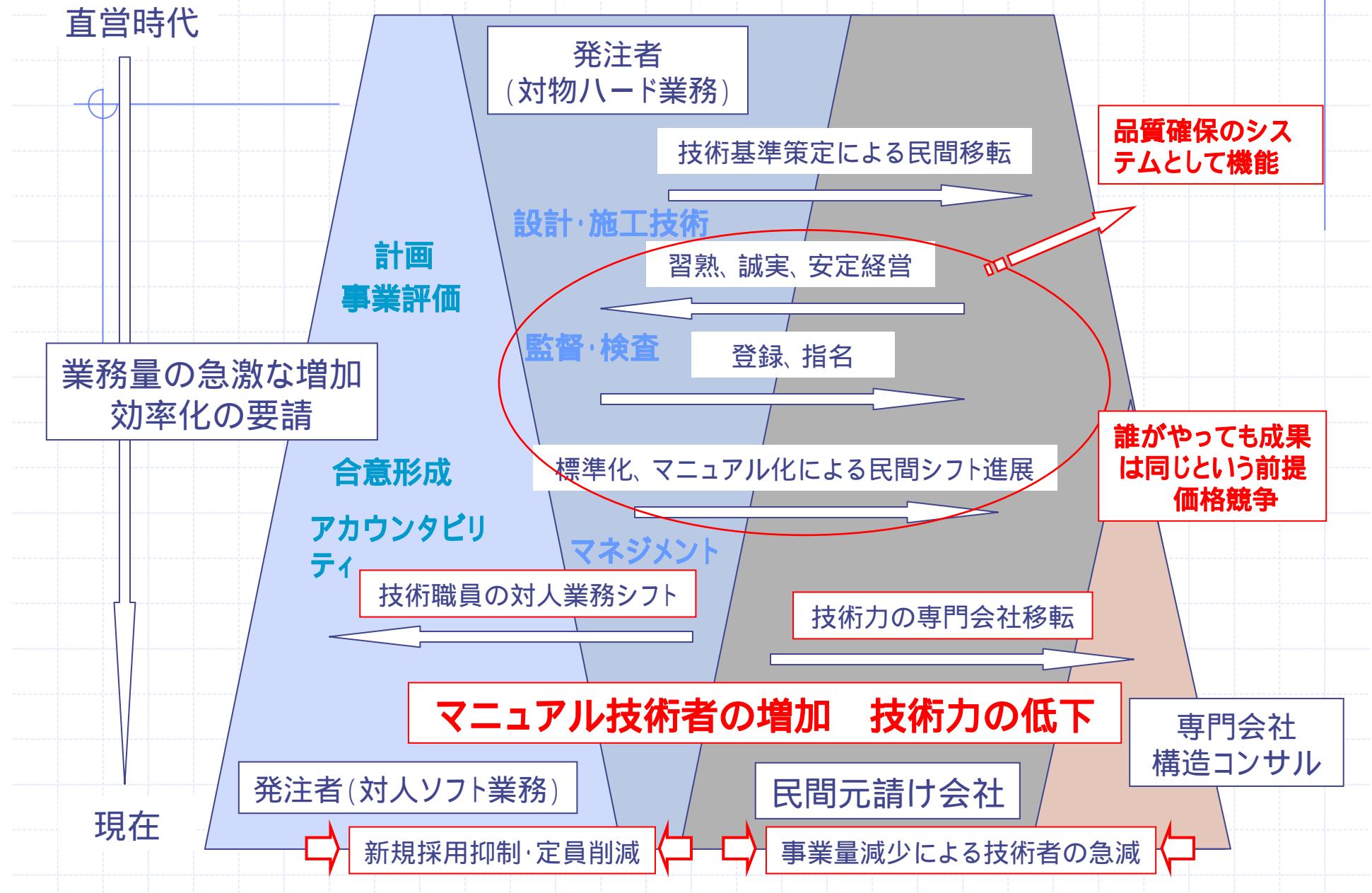
- 誰がやっても一定の品質、技術の進歩には障害
- 指名インセンティブの消失、公共事業費減少、受注競争の激化

◆ 次の仕組みの模索

- 性悪説を前提としたシステムへの移行は可能か？
- 国民の指示を得られる指名に代わるシステムはあるか？
- 発注者、コンサルタント、施工会社の関係は今までよいか？

建設生産システムにおける発注者責任に関する懇談会(H18.5-)

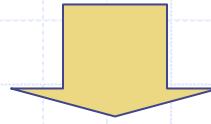
技術力はどこに行ったのか？品質確保はどうするのか？



(4) 「公共工事の品質確保の促進に関する法律」 (品確法)(H17年4月)

品確法のポイント

公共工事の品質確保に関する理念、発注者の責務の明確化
価格競争から価格と品質の総合的に優れた調達へ
技術力を重視した適切な発注手続
発注者の支援

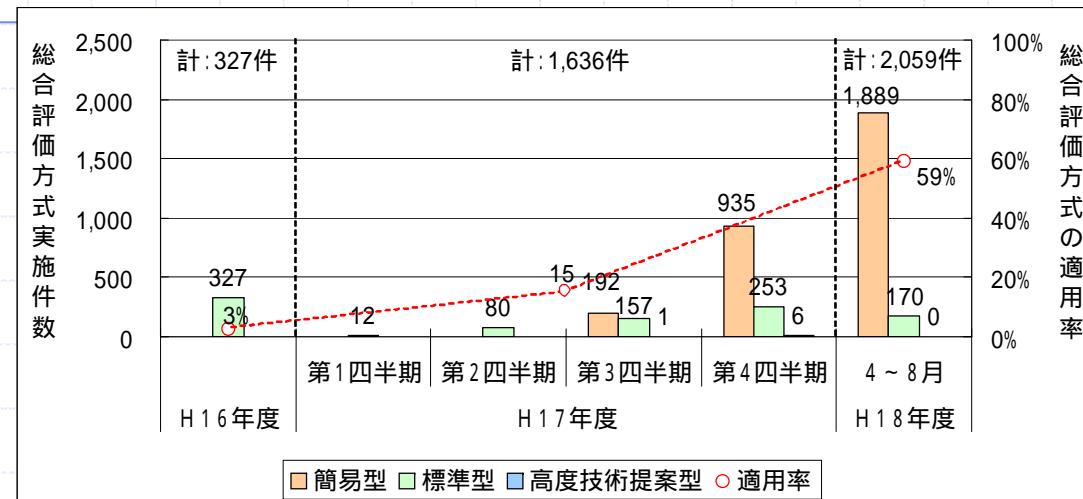


- ・公共工事の品質確保の重要性に関する再認識
- ・計画・調査・設計・施工・維持管理の全体を通した新たな品質確保システム(品質確保に向かうインセンティブ) の構築

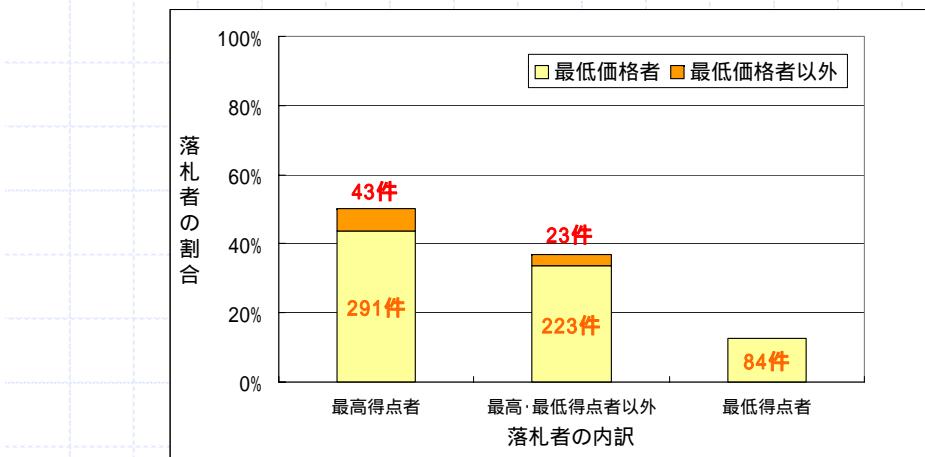
という期待

総合評価方式の実施状況

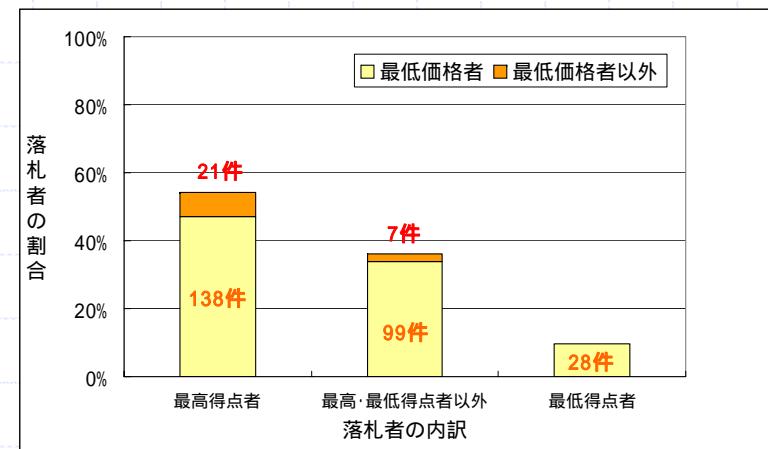
総合評価方式の適用状況



総合評価方式における落札者の内訳



簡易型



標準型

総合評価方式をどのように活用するか

- ◆ 品質確保にかかる技術力(アイデア)を競うことによる品質向上へのインセンティブ
 - 品質 = 耐久性という商品価値の向上、国際的競争力
 - 一般化した新技術 標準仕様へ
 - 工事成績のプロセス評価 次回総合評価に反映
- ◆ 技術提案を評価する技術者がいないと言うが...
 - 相手(もちろん自分も)のレベルに合わせた提案を
 - 自らのプレゼンテーション力の無さを棚に上げない
- ◆ コンサルタント発注に総合評価方式は適用可能か?
 - 検討中、コンサルタントの位置づけ 자체が課題では?

総合評価方式の見直しの観点

「公共工事における総合評価方式活用検討委員会」
H18年9月よりガイドラインの見直し検討中

見直しの観点

技術力をより適切な評価

- ・技術力に係わる評価項目・評価方法・配点
- ・加算点の設定
- ・技術提案、簡易な施工計画の課題設定・評価方法

ダンピング対策 等

現在の主要な検討・取り組み状況

総合評価方式の見直し検討

- ✓ 公共工事における総合評価方式活用検討委員会
- ✓ さらに簡易な方式の模索
- ✓ 事例、ノウハウのフィードバック
- ✓ 低入札対策？

調査・設計等業務の品質確保方策

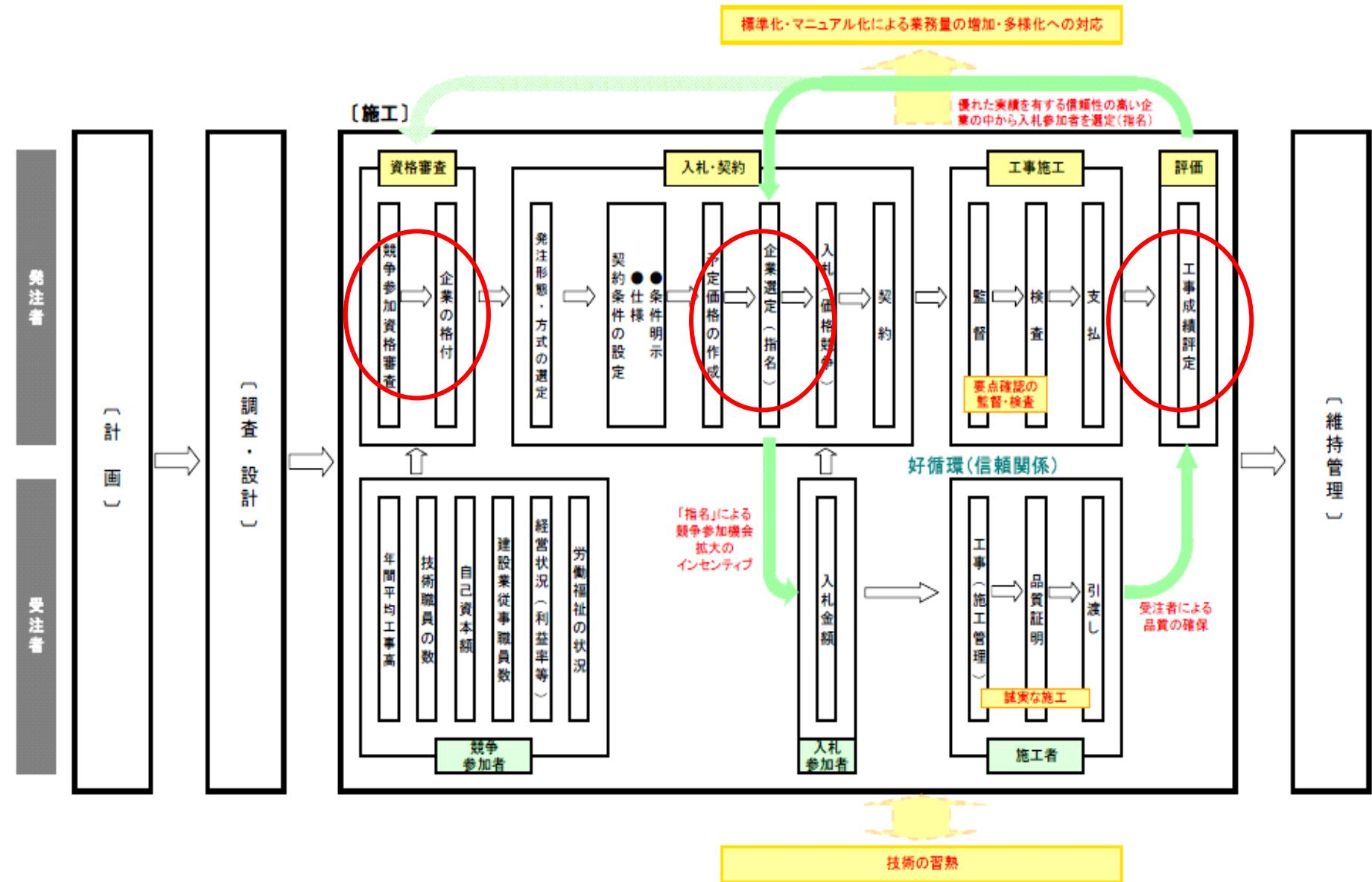
- ✓ 設計コンサルタント業務等成果向上に関する懇談会

公共工事の監督・検査の充実

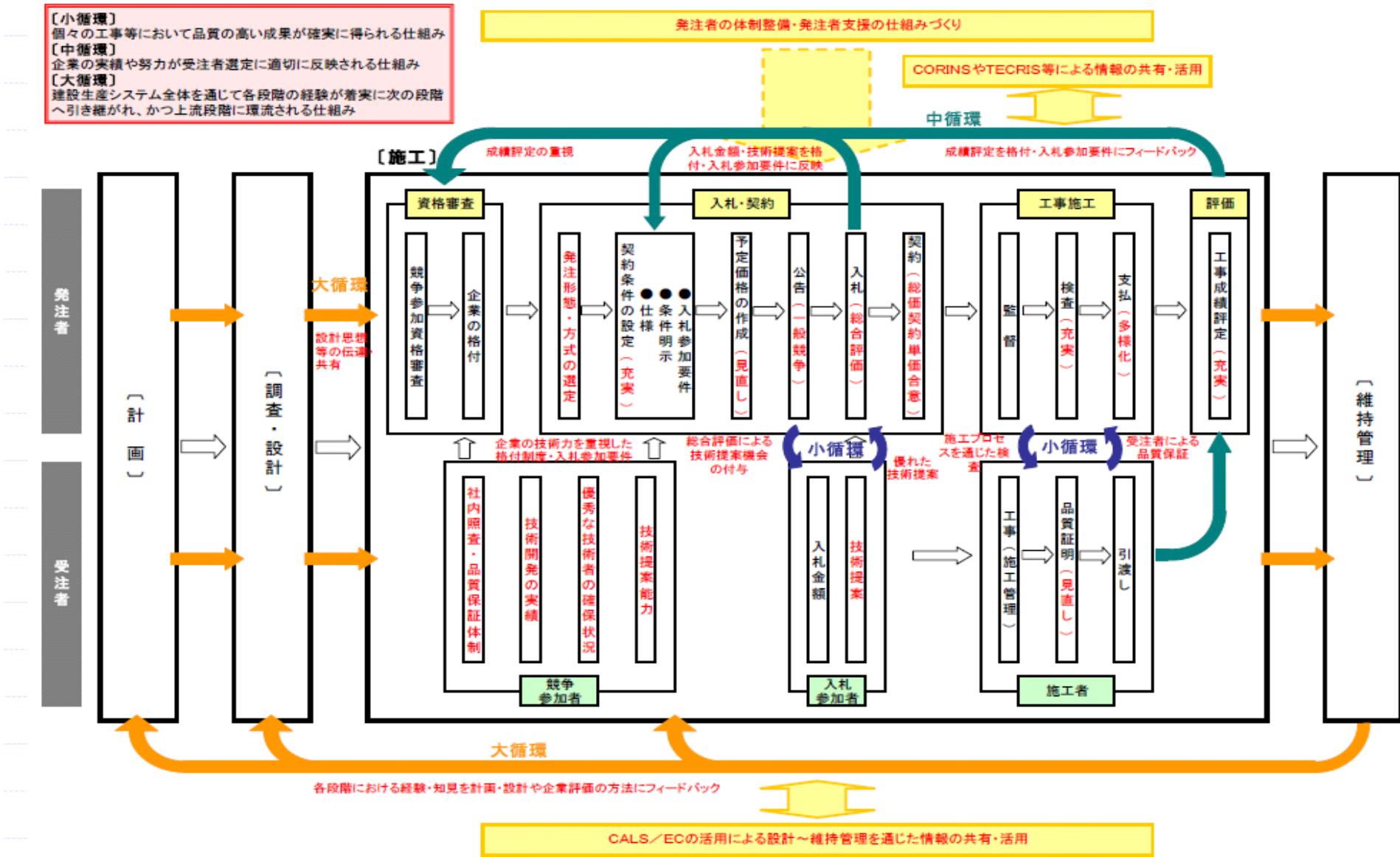
- ✓ 設計・施工プロセス専門部会(発注者責任懇談会)
- ✓ プロセス重視の監督・検査、成績評定

- ✓ このほか、企業評価、品質確保専門部会が活動中

従来(指名競争入札)の品質確保の仕組み



新たな品質確保の仕組みの仕組みの構築



公共工事の監督・検査の充実

受発注者間の信頼関係を前提とした限定的な監督・検査からの転換

品質(=耐久性)を左右する施工プロセスを重視した検査

従来の監督と検査の役割分担の見直し

中間検査に加え、抜き打ち的な施工プロセス検査の実施

施工プロセス検査制度の円滑な導入のための体制強化

プロセス評価を工事成績に反映

下請企業を含めた工事評価制度

下請けの表彰制度、工事評定の導入

設計・施工プロセス専門部会で検討

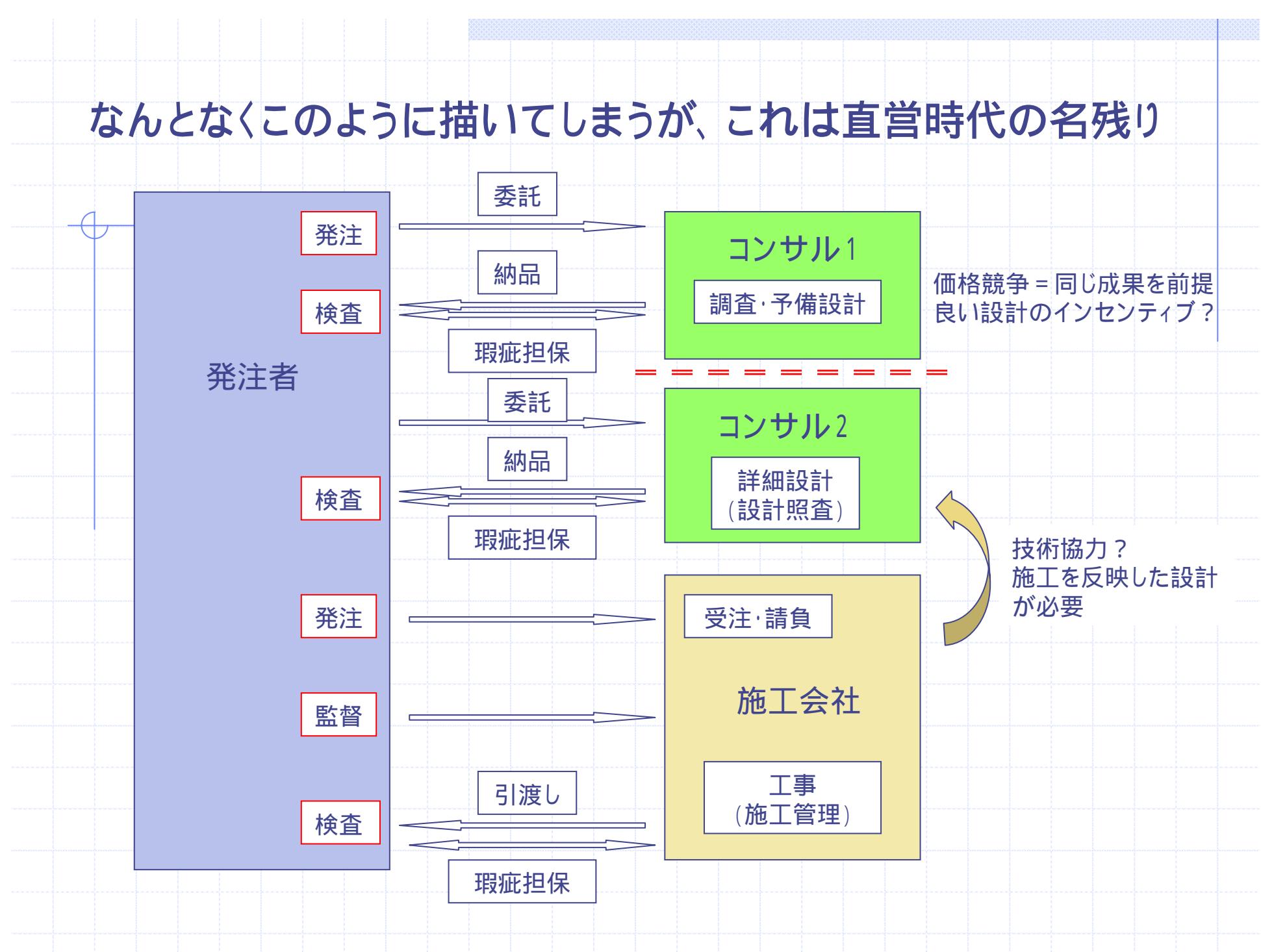
調査・設計業務等における品質確保の方向

設計業務における施工会社と設計コンサルタントの役割の見直し

設計成果の照査制度の見直し
第3者による設計照査の導入 等

業務における総合評価方式の導入
一部試行的に実施:「鶴住居第一高架橋詳細設計業務」

なんとなくこのように描いてしまうが、これは直営時代の名残り



発注者支援型コンサルタント(こんな図で考えてみたら？)

